

風のスタジオ イベント情報

aibook 休日公演
in 盛岡

「ぺあ」

作・演出：笹峯 愛
出演：もたい陽子
菊池美里



日時 2月12日(月・祝) 14:00～
※受付は開演の45分前・開場は30分前
会場 いわてアートサポートセンター風のスタジオ
料金 1,500円
問合せ aibook34@yahoo.co.jp

いわてアートサポートセンター提携公演
劇団ちやねる卒業公演

「いつか約束の海」

数年前に両親を失った岬晏湖は、長男・拓史、次女・若菜、三女・真帆の兄妹四人で暮らしていた。貧しくも穏やかに過ごしていた四人だったが、突如拓史が不可解な行動を取るようになる。兄の行動によって崩れ始める家族。そしてそれは、置き去りにした四人の「罪」を浮かび上がらせる… 劇団ちやねるが送る、今までにないホームミステリー。

日時 2月23日(金) 19:00～
2月24日(土) 14:00～/19:00～
2月25日(日) 14:00～/19:00～
※開場は開演の30分前、上演時間約110分
会場 いわてアートサポートセンター風のスタジオ
料金 前売：一般1,200円 学生1,000円
当日：一律1,500円
問合せ 080-2844-5376 (制作部)
channel.grad29@gmail.com



いわてアートサポートセンター

鉤屋町界限イベント情報

町家で投扇興

2018年2月10日(土) 11:00より
大慈清水御休み処(盛岡市鉤屋町3-15)

主催：特定非営利活動法人盛岡まち並み塾
問合せ：TEL.019-622-8989



発行所 特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

【本部】

〒020-0874 盛岡市南大通1丁目15-7 南大通ビル3階
TEL (019)656-8145 FAX (019)656-8146
E-mail info@iwate-arts.jp URL http://iwate-arts.jp

【肴町事務所・風のスタジオ】

〒020-0878 盛岡市肴町4-20 永卯ビル3階
TEL (019)604-9020 FAX (019)604-9021
E-mail kaze@iwate-arts.jp URL http://iwate-arts.jp
〈窓口営業時間〉火・水・金 10:00～18:30 木・土 10:00～17:00
〈施設利用可能時間〉9:30～21:30

【もりおか町家物語館】

〒020-0827 岩手県盛岡市鉤屋町10-8
TEL (019)654-2911 FAX (019)654-2913
E-mail machiya@iwate-arts.jp URL http://machiya.iwate-arts.jp
〈開館時間〉9:00～19:00(最終入館18:30) ※浜藤ホールのみ利用時は21:30まで
〈休館日〉毎月第4火曜(休日の場合はその翌日) 年末年始12/29～1/3
〈入館料〉無料 ※一部企画展は有料の場合があります。

◎プレイガイドをご利用下さい!

肴町事務所・風のスタジオ窓口と、もりおか町家物語館案内所には、プレイガイドを設置しております。販売手数料5%(消費税込み)で、イベントチケットをお預かりしています。直接ご来館のうえ、職員にお声がけください。



もりおか町家・風の通信 2月号

毎年恒例、町家の雪あかり。
したまち小劇場祭。

今年は、管楽器の学校も開催。



町家の雪あかり～わん! ダブル2018～
2月8日(木)～10日(土) 点灯時間17:00～20:00
〈写真〉町家の雪あかり2017



もりおか町家物語館

町家の雪あかり～わん！ダブル2018～

日時 2018年2月8日(木)～10日(土)
点灯時間 17:00～20:00

場所 もりおか町家物語館 風の広場
入場料 無料
主催 もりおか雪あかり実行委員会
盛岡市、(特非)いわてアートサポートセンター

もりおか雪あかり2018サブ会場

管楽器の学校～金管楽器編～

親子で管楽器に親しむことができる体験型コンサート
演奏 いわてプリティッシュプラスカルテット

日時 2018年2月10日(土) 17:30～
※開場は開演の30分前 / 全席自由

場所 もりおか町家物語館 浜藤ホール
入場料 親子券 前売 2,500円 当日 3,000円
(大人1名+中学生以下1名)
一般券 前売 1,500円 当日 1,800円
主催 盛岡市、(特非)いわてアートサポートセンター

はまとうふるほんいち
浜藤古本市

盛岡市保存建造物
浜藤の酒蔵を舞台に、
古本市を開催します！

開催 日時・2018年3月24日(土) / 25日(日)
11:00～16:00
場所・もりおか町家物語館 浜藤の酒蔵

出店者募集中

[募集内容] 古本を販売する個人・グループを募集します。
[応募条件] ①1店舗(1区画)は1.8×1.8m以内とする
②出品物は古本または自主制作本(詩集や写真集、絵本やZINE等)とする
③搬入出および店番は各自おこなうこと
④販売に必要なつり銭、陳列・装飾に必要なものは各自準備すること ※長机といすは会場備え付けのものを使用いただけます。

[募集期間] 募集中→2月25日(日) ◆必着
[出店料] 1店舗:1,000円 ※開催日に徴収します。※2日分の出店料です。1日だけの出店も可ですが、出店料は一律1,000円です。

[募集数] 12店舗(予定)※区画は抽選となります。※応募多数の場合も抽選となります。

※申込方法は募集要項をご覧ください。もりおか町家物語館に設置するほか、ホームページからダウンロードできます。



したまち小劇場祭 2018

2018年2月17日～3月11日

したまち小劇場祭・・・もりおか町家物語館をはじめとした鉾屋町界隈の歴史と風情あるまち並みなどを活かし、近隣の小劇場・小空間などを会場に、より近い距離感で様々なジャンルの公演を味わって頂くことを目標に、毎年開催しています。

パーカッションセミナー・仙道さおり先生による打楽器のおいしい料理法

葉加瀬太郎さんのツアーメンバー「仙道さおり」さんのおもしろ打楽器体験ワークショップと実演

2/17(土)13:00開演(12:00開場)
入場料:(要予約50名限定)
一般3,000円/高校生以下1,000円

公 福祉と音楽の会「まつtete」
お問合せ:同上 090-2367-3463

語り継ぐ盛岡物語 朗読劇「開運橋物語」

鈴木彦次郎著「巷説城下町」より
脚本・演出:坂田裕一
出演:畑中美耶子、大塚富夫 他

2/25(日)14:00開演(13:30開場)
入場料:(前売)一般1,200円/学生・シニア1,000円
主 (特非)いわてアートサポートセンター
お問合せ:もりおか町家物語館 019-654-2911

主催 盛岡市、(特非)いわてアートサポートセンター
(特非)盛岡まち並み塾
(会場)もりおか町家物語館(盛岡市鉾屋町10-8)
大慈清水お休み処(盛岡市鉾屋町3-15)
※上記3公演の会場はすべて、もりおか町家物語館

浜藤JAZZライブvol.4 ～ジャズとワインのタベ～

ワインと共にジャズを楽しむ毎回人気のライブ。

出演:北島貞紀&Smile Cats,
金本麻里,伊禮しおり

3/3(土)19:00開演
(18:00開場)
入場料:(前売)一般 2,700円
学生・シニア2,500円

主 (特非)いわてアートサポートセンター
お問合せ:もりおか町家物語館
019-654-2911

3/10 盛岡弁で語る
“下町のお花ばあちゃん”
の昔ばなしっこ

3/11 3.11 文化復興
支援フォーラム
(次号掲載予定)

主 =主催公演 公 =公募公演
■プレイガイド/もりおか町家物語館、他
■各公演についての詳細や予約は、
各団体にお問合せください。

カフェ DOMA

中島香緒里彫刻展
「ときのかげら」
～2月25日(日)まで

町家の雪あかり 開催日は
20:00まで営業!

特別メニュー 焼きマシュマロ
今年もあります♪お楽しみに!

営業 11:00～16:00 定休 毎週火・水曜日

※営業時間外も、施設開館中は見学可能です。
※臨時休業の場合もございます。営業時間はホームページ等でご確認ください。

お休み・2月12日(月・祝)終日

リレーコラム No.22 朗読劇・開運橋物語

いわてアートサポートセンターの朗読劇は、法人設立前から、結成メンバーが大切に育ててきた表現だ。結成からこれまでなんと70本以上の作品を上演し、結成前にメンバーが関わった作品を含めると100本近くになるだろう。

わが朗読劇の最大の特徴は、確かな語りを得意とするアナウンサーと、情感のある語りが得意な俳優の協働にある。アナウンサー陣をリードするのは畑中美耶子さんと大塚富夫氏、少し年代が下って江幡平三郎氏と続く。俳優陣は法人会員の伊勢二郎、大森健一、東海林千秋のほか、市内劇団員の小野寺斉子、千葉伴、永井志穂らの出演が多い。

開運橋物語は、「語り継ぐ盛岡物語」の第二弾として、ちょうど2年前に上演された。盛岡出身の小説家・鈴木彦次郎氏の「巷説城下町」を下敷きにした作品だ。開運橋建設をめぐる、県令と市議会の対立、南部火消し連と盛岡芸妓衆の心意気などが語られ、やがて新聞記者と若き盛岡芸妓の悲恋の話へと物語は展開する。彦次郎さんの二人の逢瀬を表す筆跡は美しく艶やかだ。その部分の語りは大塚富夫氏が受け持つ。前回、そのシーンで、ある観客は思わず生つばを飲み込んでしまったという。今回も楽しみにしよう。

出演者は、大塚氏のほか、畑中美耶子さんが流ちょうな盛岡言葉で参加する。盛岡文士劇でも丁々発止の掛け合いが楽しい畑中・大塚のコンビが、揃って朗読劇に出演するのは珍しく、前回公演も二人の掛け合いに笑いの渦が起きた。役者たちでは永井志穂、村山恵美の前回出演者に加え、鏡浩史氏が参加。鏡氏は現在、「プラザおでっ」の館長だが、実は若いころ東京の劇団にいて、俳優経験もある。永井さんは劇団赤い風のトップ女優だが、朗読では畑中さんの指導を受けている。村山さんは、どうやら盛岡芸妓に特別な思いがあるようだ。実は、開運橋物語は、盛岡芸妓の物語でもある。そして、演出の私は、前回の面白さに、新しいひと匙のスパイスを加えたいと思案中だ。

特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター
理事長 坂田裕一